

# 現代文B

令和5年度

東濃実業高等学校

対象クラス	第3学年 全科	単位数	3
使用教科書	「高等学校 改訂版 標準現代文B」第一学習社		
使用副教材	漢字とことば(中部日本教育文化会) トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 現代文ウィニングクリア2(尚文出版)		

<p>「現代文B」とはこんな科目です。</p> <p>明治以降の「随想」や「小説」、「評論」、「詩」などを学び、「話す・聞く」、「書く」、「読む」という言語活動を通して、国語の表現力や理解力、伝え合う力(コミュニケーション能力)を高めることを目的とし、将来、社会に出て生きるために必要となる言葉の力の養成を目指します。</p>
<p>科目の到達目標(目標とする検定等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を身に付けよう。</li> <li>・「伝え合う力(コミュニケーション能力)」を身に付けよう。</li> <li>・言語を通して考える力(思考力)を伸ばそう。</li> <li>・言語感覚を磨き、場面に即したより適切な表現ができるようにしよう。</li> <li>・自分の考えをまとめながら、作文を書く力を身に付けよう。</li> <li>・漢字検定2級レベルの漢字力を身に付けよう。</li> </ul>

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・授業の取り組みの様子 ・課題プリントの提出状況と内容
話す・聞く能力	・目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	・授業の取り組みの様子
書く能力	・必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・定期考査 ・感想文や提出物への取り組み
読む能力	・近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・定期考査 ・授業の取り組みの様子
知識・理解	・言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査 ・漢字等の小テスト

### 学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期 中間	世界を見つめる  小説を読む(一)  【前期中間考査】	ワスレナグサ 食と想像力  ひよこの眼  「自分史」作成の手順説明 年表・作成、中間提出	・文章の流れをつかみ、筆者の関心や問題意識を理解する。 ・食という身近なものを新たな視点から見つめ直し、自己に引きつけて考える。 ・小説の主題について迫り、「自分と他人」「他者とのかかわり方」などについて考える。また、人間の運命と生きることの意味について考える。
前期 期末	新しい視点 詩を味わう  【前期期末考査】	記憶のゆがみ  食事 他2編  「自分史」:作成	・論理的な文章を読解するとともに、記憶をゆがめるメカニズムを理解し、内省のきっかけとする。 ・近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の仕方・技法を学ぶ。 ・想像力を豊かにするとともに、言葉に対する感性を磨く。
後期 中間	生への思索 小説を読む(二) 短歌と俳句  【後期中間考査】	鏡としての他者  卒業  折々のうた  「自分史」:作成	・論理的な文章の構成や展開を正確に読み取る方法を学ぶ。 ・主人公の行動や心理を読み取り、働くということや「卒業」の真の意味について考える。 ・作品と鑑賞文の対応関係を理解し鑑賞の仕方を習得する。

<p>学 年 末</p>	<p>現代と文化 小説を読む(三) 言語活動  【学年末考査】</p>	<p>経験の教えについて 山月記 「自分史」: 本提出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得しながら、『イソップ物語』の寓話の教訓について考え、経験から学ぶ知恵について理解する。</li> <li>・詩人として名を成すことに憑りつかれた主人公の、虎の体に人間の心を持って生きなければならない苦悩と悲哀を理解する。</li> <li>・自分の生い立ちを振り返るとともに、将来を展望してみる。</li> </ul>
----------------------	---	---	---